

広報 かみはちまん

第15号
令和4年3月31日

発行
上八万まちづくり協議会
上八万公民館

〒770-8040
徳島市上八万町樋口61
TEL(088)668-6392



成人式 おめでとう

令和4年 上八万地区成人式 2022年1月9日

上八万地区成人式

二〇二二年一月九日、新年をむかえられ新たな人生の門出、決意も新たに大人への第一歩を踏み出した新成人の皆様おめでとうございます。

上八万地区の該当者は、地区内外で六十一名のうち四十六名の方が上八万公民館の成人の式典に出席されました。男性はスーツ姿、女性は和服姿の方が多く見受けられ館内は一段と華やかな雰囲気になりました。式典には検温、マスク、手首の消毒等コロナ対策を十分しながら館内へ入場しました。式典が始まり新成人の福山七海さんが君が代のピアノ伴奏をし、市民憲章唱和、公民館長の挨拶、御来賓からの祝辞をいただきました。六年生時担任の先生からは心

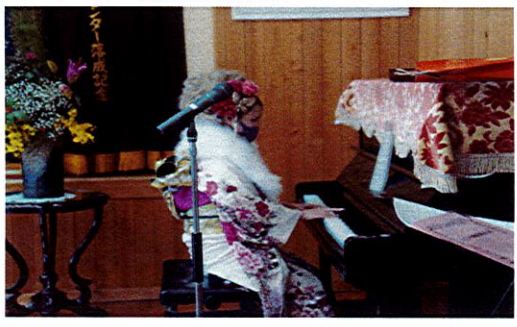
に残るメッセージをいただきました。その後祝電披露をし、新成人代表の記念品贈呈受け取りは田宮佑渉さん、謝辞は山下紗耶花さんが「私たち新成人は何事にも挑戦し続け自分たちのやり方で社会に貢献していきたい。」と力強く述べました。式典は短時間で終了し、記念写真撮影を行いました。茶話会はできませんでしたが、公民館の庭で友人との写真を写し合い楽しく過ごしていただきました。



成人式謝辞

山下 紗耶花

晴れて成人式を迎えることができたのも地域の皆様、優しく時には厳しく指導して下さいました先生、共に励まし合った仲間、愛し続けてくれた家族の存在があった。この感謝の気持ちをお忘れず皆様に私たちが忘れず皆様にしたいです。
(一部割合させていただきました。)



受賞おめでとう
になります

令和三年十月一日、置市記念日に、地域のコミュニティ活動に長年にわたりご尽力された方に感謝状が贈られました。

令和三年度

徳島市地域貢献高齢者顕彰表彰受賞

上八万地区

中林 正人 様



ふれあい教室
すくらむ学級

新型コロナウイルスの影響で、ほとんどの講座が中止となつて、はや二年が過ぎようとしています。

まだまだ危機感を非常に感じる毎日ですが、こんな時だからこそ気持ちを前向きに持つて行こうと心がけ

ています。

今年は、

- ①長尾紀子先生による防災研修会「コロナウイルス対策のための訓練」と題していろんな体験をしました。
 - ②ふれあい教室の皆さんによる上八万コミュニティバス利用訓練がありバス乗車体験をしました。
 - ③「笑いヨガ」ふれあい教室、すくらむ学級合同で行ないました。
- 以上が令和三年度の行事です。
- 新年度は皆さんと一緒に楽しく笑って行事が出来ますようにと願っています。



墨彩画教室

宮本 静江

絵手紙教室を始めました。墨を使った墨彩画です。

- 桜の下のお地藏さん、箭の横のお地藏さん等素朴な表情にとてもいやされます。
 - 皆さん挑戦してみませんか。
 - 参加費は材料費のみです。
 - 持ち物は不要です。
 - 講師は福山彩虹先生です。
 - 毎月第二、第四木曜日 十時〜十二時迄
 - 場所 上八万コミセン 工房室
- 皆さんの御参加を心よりお待ちしております。



はじめて書いた作品です

敬老会

令和三年度の上八万敬老会は、新型コロナウイルス感染予防のため、残念ながら中止になりました。

該当者の方に記念品を配布し、尚、百歳と九十歳を迎えられたお祝いといったし、まして、ささやかですが記念品をお贈りしました。

一日も早くコロナウイルス感染症が終息し、また皆様と元気にお会いできる日を役員一同心待ちにしております。

夏祭り&文化祭

今年も、今年も非常に非常に残念で有りますが、「何と言っても人の命が最優先」という事で、真夏のカーニバルである上八万夏祭り&新春のフェスティバルである上八万文化祭のビッグイベントが、中止となりました。

来年こそは、来年こそは、必ず必ず、熱い真夏の日と新しい年の文化の祭典を、

上八万のみんなです。必ず、迎えようではありませんか。それまで、お体を大切に。

いきいき百歳体操教室
メンバー募集

- コロナに負けないように元気で長生きできますように
- 体操を通して体力を保ち免疫力アップにもつながるよう
- みんな集まれ
- めげせ百歳
- 毎週火曜日、午前十時から、上八万コミセン集会所にて行っています。
- 参加費は無料です。



上八万地区 地域自主運行バス



地域住民が運行する「コミュニティバス」のつたろうは三年目を迎えました。今年こそは、収まるかと思っております。コロナウイルスも増々拡大し、イベントも出来ない状態でしたが、十一月八日から十九日の間、運行バス一周年記念祭を行いました。無料乗車券を配布し、空くじなしのくじ引き（一等トイレットペーパー、二等ごみ袋、三

等タオル二枚）を行いました。乗車人数が多い時はバスを二台出して楽しんで頂きました。

二年目となると、いろんな意見を頂きましたので、見直しをはかる事と致しました。

「マルナカに行つてほしい」「運賃が高い」という声等から、徳島市地域交通課と話し合いアンケートを取り、町内にはかりました。

アンケートの結果、
一、マルナカ（新浜）へのルート変更
二、運賃を安くする（実質片道百円）が、決まりました。

新運賃については、三百円を百円に変更にするにあたり、応神バスや市バスとの兼ね合いで、差額の二百円を協賛金・寄付金等から補助することになりました。乗る人が喜んで頂ければという思いからです。

令和四年五月から上八万コミュニティバスは片道百円です。
まだまだコロナウイルス



が収まりません。新しくオミクロン株も増え始めましたが、十年先二十年先に向かって、コミュニティバスの運行を続けていきたいと思っておりますので、皆様ご協力お願いいたします。

公民館とまちづくり協議会が 統合になります！

令和四年四月から公民館とまちづくり協議会は統合し、「上八万コミュニティ協議会」という名称で、地域の実情に合ったまちづくりを進めて行くことになりました。

何のために統合するかというと、地域の組織の効率化の為に統合するそうです。公民館事業もコミセンとして、おこなっていきます。上八万地区は公民館とまちづくり協議会を作った時に先代の方が、館長と会長を一人にする組織を作って下さっていたお陰で、スムーズに統合が出来ました。

これから先、公民館とまちづくり協議会が一緒になっても、事業や行事等は今までと変わりなく行います。ただ「公民館」という、言いなれた名前が消えるのは寂しい限りです。

この統合の話は、四年ぐらいい前からありましたが、

去年から急激に話が進み、これからの五年間で徳島市の公民館は順次統合していく予定です。

公民館は、第二次世界大戦終了後間もない一九四六年、文部省が地域の人々が集い学ぶ拠点「公民館」の設立を全国に呼びかけて、設立を奨励しました。公民館は全国に広がり普及し、社会教育施設として住民の間で定着してきました。

それから七十年以上が経過しました。上八万公民館は、名東郡と徳島市が合併した時代に設立しております。

今後も、コミュニティ協議会は、地域における生涯学習推進拠点として時代や環境に合わせた地域づくり、地域が抱える現代的課題等の推進を図っていききたいと思っております。

皆様のご協力をよろしく
お願いいたします。

コミセンカフェ&販売コーナー

コミセンのロビーにカフェコーナー、入口に販売コーナーがあります。カフェコーナーには、ソファやテーブル等を置いてありますので、ゆっくり楽しんでいただけるスペースとなっています。

販売コーナーでは、町内の方々から新鮮安心なお野菜や果物、またお花や手作り小物類を提供していただき、安価で販売しています。とても評判が良く、皆様にご利用していただいています。ご存知ない方も、一度覗いてみて下さい。無人販売のため「防犯カメラ」を設置しています事、ご了承ください。



学遊塾

公民館・児童館合同で六月に「オリジナル除湿剤作り」十一月に「キラキラ宝石せっけん作り」一月に「書き初め」をしました。色のついた重曹にフィギアを入れてかざった除湿剤作り、色のついたグリセリンソープを何層か重ねて固め、宝石のようにカットティングしたキラキラせっけん作りは、それぞれの行程を楽しみ、世界で一つのものを作っていました。書き初めも二年ぶりに行いました。特に低学年の子ども達は初めての筆に苦労しながらも力強い作品に仕上げられています。参加者はすべてあわせて百五十名でした。



防災研修会

令和三年七月三十一日午前十時から一時間、コミュニティセンターにおいて「避難所運営における新型コロナウイルス対策のための防災研修会」を開催しました。

新型コロナウイルス対策のための訓練として、密を避けるために、隣接する児童館を借りました。受付では、「マスクの着用の確認」「検温」「手指消毒」「名簿作成」等、感染防止対策を徹底して行いました。

また、公演前には、窓やドアを開放し換気を行い、室内の広さに応じ得る限りの間隔を置いて椅子を並べ、参加者自身が座席を拭くなど、最大限の感染防止に努めました。

講演会では免疫をあげるためや筋力低下を防ぐための栄養や運動についてのお話を聞きました。

また、高齢者、女性、障がい者など、災害弱者に対



する人権問題について、非常食の備蓄について、市町村発令の避難情報の変更に ついて、避難時の心構えについて等々、学びました。 厳しい暑さの中、住民の皆様には終始熱心に受講していただき、また、活発に貴重なお意見をいただくなど、非常に有意義な会となりました。



上八万児童館

児童館は0歳から十八歳までのだれもが無料で利用できる地域の中之子育て支援施設で、午前は乳幼児親子、午後は小学生が優先で遊べます。

毎週火曜日の午前中は、乳幼児親子向けのプログラムを行っていますので、お友達作りやお母さんの気分転換にご利用ください。

学童保育

学童の扉を我先にと勢よく開け笑顔と大声で帰って来る子ども達。コロナ対策のマスク着用や手指消毒、検温も定着して学童で過ごしています。

学年や男女関係なく一緒に玩具遊びや制作を通して戦略を練ったり、想像力を膨らませて遊びを発展させながら、楽しんでいきます。

小学生はコロナ禍で、遊びの二十分交代、図書室の人数制限などを行っています。自分で時間を管理し、行動することが習慣化してきました。また今年度は、夏休みに手製のフェイスシールドをつけて水鉄砲で遊ぶウオーターパークデイを開催。冬休みには乳幼児親子・小学生合同でコミセンバスに乗って徳島県立近代美術館へ見学にいきました。

外遊びの時間が大好きで、運動場でめいっばい体を動かして遊んでいます。コロナの感染対策をしながら毎月の誕生会や季節ごとのイベントでも盛り上がりたくさんの笑顔に繋がられています。



の笑顔と成長を見守っていきたく思います。



児童館では今後も感染対策を徹底し、すべての子どもが、安心安全に利用できる施設を目指します。

生花教室

岡 秀子

「花をいける」とは自ら進んで花の美しさを生かすことである。咲く花は葉や枝に支えられてこそ美しい、その調和に生きた働きがある。「池坊花博書より」と書かれています。咲く花と同じように、私達もまわりの人達に支えられて生きていく。と感じた一年でした。コロナ禍の中でお稽古の間もままなりません。感染予防、防止に努めながら、幼児から大人まで、年齢差六十九才が楽しくお稽古しています。春の花を生けて部屋に置いてみませんか。まず花を好きになることから始めてみませんか。土曜日の朝十時からお稽古しています。お気軽にのぞきに来て下さい。



日本舞踊

花岡 史恵

「育の会」は、雁音 育先生のご指導で月曜日の夜に公民館でお稽古をしています。雁音流は、歌舞伎役者の中村扇雀氏がお家元で、徳島を本部としています。上八万お稽古場では現在、子ども八名、大人六名でお稽古をしています。日本舞踊は頭と身体の健康は元より心も豊かにしてくれます。お子さまの情操教育にも大人の健康促進やボケ防止にも十分期待できます。また今年、徳島市で六月に雁音流の発表会を予定しています。発表会では、本部の理事長先生や育先生をはじめとする先生方、また私たち門下生も本格的な歌舞伎衣装を着けてお稽古の成果を発表します。

お稽古および発表会等にご興味ございましたら是非、お気軽に月曜日のお稽古時間（午後四時～八時）に公民館へお立ち寄りください。

上八万地区自主防災連合会役員
(順不同・敬称略)

役職名	氏名
会長	阿部 増江
副会長	川人 泰博
副会長	富岡 治美
副会長	相田 伸二
副会長	武岡恵美子
副会長	内海 健二
監事	山本 昭彦
監事	馬場 利清

上八万公民館運営委員
(順不同・敬称略)

氏名	地区
青木 隆司	西地
立道 照久	田中
三木 敏之	花房
英美弥子	花房
河上富美栄	星河内
佐々木恵子	星河内
大門寿恵子	樋口
竹内 和美	樋口
黒川 育子	樋口
堀井 常子	樋口住宅
武村 佳代	東山
内海 健二	道原
久保 章	日比宇
中西 吟子	下中筋団地
元木 謙一	明善
川口香代子	明善
脇谷 充	大木
中林 凱子	大木
大谷 政男	大木団地
河野 実	上中筋
大滝 雅章	上中筋
松本 静子	上中筋
宮本 英雄	川北
川人 玲子	川北
小西 正一	川西
加本 和慶	中山
守安 一峰	中山
村上 廣子	西山
森本 松古	西山
瀧下 敬子	西山

上八万バス運営委員会役員
(順不同・敬称略)

氏名
加村 祐志
平山 功
川人 泰博
内海 健二
宮本 英雄
三木 敏之
川人 玲子
竹内 和美
阿部 増江

上八万まちづくり協議会役員・運営委員

(順不同・敬称略)

役職名	氏名	職歴
顧問	山田 豊	徳島県議会議員
顧問	加村 祐志	徳島市議会議員
顧問	河上 治義	上八万自治協議会顧問
顧問	荒井 清臣	上八万小学校長
顧問	平山 功	上八万環境保全協議会会長
顧問	大下 栄二	前々会長
会長	阿部 増江	上八万公民館長
副会長	川人 泰博	上八万コミュニティ連合協議会会長
副会長	三牧千鶴子	上八万社会福祉協議会会長
副会長	岡 和博	上八万体育協会会長
副会長	内海 健二	上八万公民館運営委員長
副会長	久保 幸恵	上八万小学校PTA会長
副会長	藤本美恵子	上八万児童館館長
監事	相田 伸二	上八万交通防犯推進協議会会長
監事	富岡 治美	上八万消防団分団長
監事	川人 玲子	上八万公民館すくらむ学級長

氏名	地区
青木 隆司	西地
中村 吉克	田中
奥田 雅之	花房
佐々木勝則	星河内
明石 光清	東山
大垣 和美	樋口住宅
大張 正男	大木
大谷 政男	大木団地
小谷 智司	下中筋団地
元木 謙一	明善
仁木 安雄	樋口
吉岡 正博	道原
岡本 嘉之	日比宇
長尾 博志	上中筋
川人 泰博	川北
伊藤 武	川西
谷 代光	中山
馬場 利清	西山

※各名簿（令和3年12月31日現在）

令和3年度を振り返って

令和二年頃からコロナウイルス感染拡大から少しは収まったかと思う間もなく、令和三年後半からはオミクロン株という、また新しいウイルスが広まり始め増々世界を脅かしています。

そんな中、公民館では、令和三年一月の成人式典は中止としましたが、令和四年の式典のお祝い開催することができました。

長年に渡り続いておりました文化祭、夏祭りは、今年度も中止としましたが、十月頃からはコロナウイルスも少しは収まり始め、臨時休館中だったコミセンも貸館できるようになりホッと致しました。マスク着用、体温測定、

手指消毒、それから消毒用の噴霧器を買い毎日毎日コミセン全体の室内消毒をしています。

貸館のあったグループの人達にも、利用前後の備品の消毒をしていただき、速やかな入退館の実施を行っていただいております。大変なことです。

コロナ禍の中でも、防災研修（災害時、新型コロナウイルス対策のための訓練）だけは行いました。今年度も敬老会は実施できず、記念品の配布のみとなりました。

公民館三十周年記念祭を思いながら早二年が過ぎています。時は進みますが行事等は動かず、やはり時を待つのみでしょうか・・・。

編集後記

「広報かみはちまん」に原稿をお寄せ下さった皆様色々ご協力いただいた皆様に感謝いたします。コロナ禍が続いていますが負けずに元気でガンバリましょう。今後ともよろしく願い申し上げます。

編集委員

- 内海 健二・宮本 英雄
- 元木 謙一・川人 玲子
- 河野 実・三木 敏之
- 河上富美栄・阿部 増江
- 松本 光代



一年間お世話になりました